

産業廃棄物処理計画書

平成 30年 6月 28日

那覇市長 殿

提出者

住 所 那覇市松山一丁目1番14号

氏 名 東洋建設株式会社沖縄営業所
 所長 松本典人

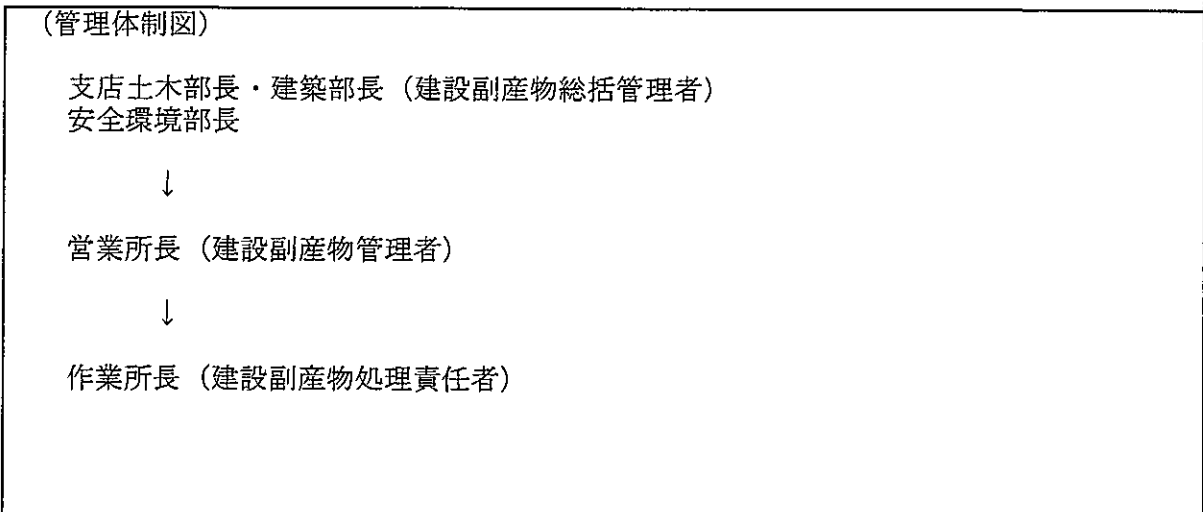
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 098-868-5644

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東洋建設株式会社 沖縄営業所
事業場の所在地	那覇市松山一丁目1番14号
計画期間	平成30年4月1日～平成31年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	総合建設業（総合工事業）
②事業の規模	H29年度元請完成工事高：8,936百万円（沖縄営業所）
③従業員数	40人（沖縄営業所）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	コンクリート・アスコンクリート・廃プラスチック類・金属くず・繊維くず・木くず → 再生処理業者へ委託して再資源化 建設汚泥 → 中間処理業者へ委託し、脱水後埋立処分 混合物 → 最終処分業者へ委託して埋立処分

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度(平成 29 年度)実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	排出量	175.24 t	37.81 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	排出量	150.00 t	25.00 t
	(今後実施する予定の取組)		

・工事案件毎に管理計画書を作成、各月の集計とあわせて、四半期毎に建設副産物処理責任者→建設副産物総括管理者へ実績の報告をしている
 ・産廃ボックス周辺の整理整頓を心掛け、職員と協力業者の意識向上に繋げる

・優良認定処理業者の利用促進や、再資源化率の高い業者選定に努める
 ・資材搬入業者への梱包資材の削減依頼等

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別している産業廃棄物の種類→コンクリートがら・アスコンがら・ガラス陶磁器・金属くず・建設木くず・繊維くず・紙くず・混合(安定型/管理型)・建設汚泥・廃プラスチック類 一人ひとり、分別に対する意識は向上している
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 新規入場者教育等を通して、職員や協力業者の更なる意識向上を促す

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（平成 29 年度）実績】				
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	建設木くず	繊維くず
排 出 量	33.39 t	0.68 t	50.28 t	3.76 t
【目標】				
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	建設木くず	繊維くず
排 出 量	25.00 t	0.50 t	40.00 t	2.50 t

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
【前年度（平成 29 年度）実績】				
産業廃棄物の種類	建設汚泥	混合（安定型）	混合（管理型含む）	
排 出 量	13.70 t	2.51 t	709.04 t	- t
【目標】				
産業廃棄物の種類	建設汚泥	混合（安定型）	混合（管理型含む）	
排 出 量	10.00 t	1.80 t	500.00 t	- t

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（平成 29 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（平成 29 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（平成 29 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	建設木くず	繊維くず
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	建設木くず	繊維くず
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（平成 29 年度）実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	建設木くず	繊維くず
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	建設木くず	繊維くず
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

【前年度（平成 29 年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	混合（安定型）	混合（管理型含む）	
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	混合（安定型）	混合（管理型含む）	
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

【前年度（平成 29 年度）実績】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	混合（安定型）	混合（管理型含む）	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	混合（安定型）	混合（管理型含む）	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（平成 29 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（平成 29 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
	全処理委託量	175.24 t	37.81 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t
	再生利用業者への 処理委託量	175.24 t	37.81 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t
	(これまでに実施した取組) 管理計画書の作成、総括管理者への四半期毎の報告により再資源化率 等の数値を把握		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度(平成 29 年度)実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	建設木くず	繊維くず
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	建設木くず	繊維くず
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(平成 29 年度)実績】

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	建設木くず	繊維くず
全処理委託量	33.39 t	0.68 t	50.28 t	3.76 t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処理委託量	33.39 t	0.68 t	50.28 t	3.76 t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度(平成 29 年度)実績】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	混合(安定型)	混合(管理型含む)	
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	混合(安定型)	混合(管理型含む)	
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(平成 29 年度)実績】

産業廃棄物の種類	建設汚泥	混合(安定型)	混合(管理型含む)	
全処理委託量	13.70 t	2.51 t	709.04 t	- t
優良認定処理業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
再生利用業者への 処理委託量	13.70 t	2.51 t	709.04 t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

(第5面)

		【目標】		
		産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスコンがら
②計画	全処理委託量	150.00 t	25.00 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	70.00 t	13.00 t	
	再生利用業者への処理委託量	150.00 t	25.00 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t	
	(今後実施する予定の取組) 優良認定処理業者の選定を推進する			
※事務処理欄				

【目標】				
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	金属くず	建設木くず	繊維くず
全処理委託量	25.00 t	0.50 t	40.00 t	2.50 t
優良認定処理業者への処理委託量	13.00 t	0.20 t	70.00 t	1.00 t
再生利用業者への処理委託量	25.00 t	0.50 t	150.00 t	2.50 t
認定熱回収業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	- t	- t	- t	- t

【目標】				
産業廃棄物の種類	建設汚泥	混合 (安定型)	混合 (管理型含む)	
全処理委託量	10.00 t	1.80 t	500.00 t	- t
優良認定処理業者 への処理委託量	5.00 t	0.80 t	100.00 t	- t
再生利用業者への 処理委託量	10.00 t	1.80 t	500.00 t	- t
認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t	- t	- t

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。